

定例委員会報告

フレンズ国際労働キャンプ

(FIWC)関東委員会

2003.5



フレンズ国際労働キャンプ(FIWC) 関東委員会

定例委員会報告 2003年5月号

2003年5月18日 目黒鍼療院にて

参加者: 藤澤真人、宮本久美子、茂木亮、佐藤正明、西尾雄志、
原田健一、丸岡栄治、松長麻美、浅利絵里香、伊藤祥江、
目黒美穂子、鳥居厚志、笠眉彦、13名



材料を切る職人さんたち

さすか"ネパール!!

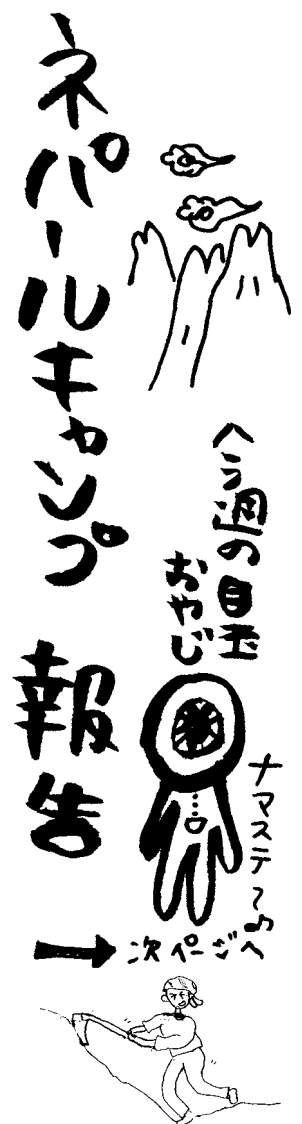


3月5日から21日に、ネパールの首都からバスで10時間、ジープで3時間(ジープの屋根に乗って大冒険風!)、歩いて4時間(相当ハード・絶壁有り)の所にあるデュリシエーという村で幼児教室のための学校を建設の基礎工事しました。今回のキャンプは前回までのSCC主催のものとは別に、垣見さん協力のもと個人的なつながりから計画されました。日本人9名、カトマンズ(都心部)からのネパール人2名、地元のユースクラブのメンバー5名が参加しました。主なワークは、まずは整地、柱、壁用の溝掘り、壁を作るための岩運び等。キャンプ等は慣れない作業や道具に苦戦しながらも、積極的に村人の作業を手伝いました。ワークの後にはたき火をしたり、



ネパールビューティー3

ニワトリを締めて食ったり、地酒を飲んだりイベントも盛りだくさんでした。村に着くまでに練習しておいた劇や歌を行く村々で披露してみせ、大好評でした。村を離れるときには、村のメンバーが自作の感動的な歌を歌ってくれて涙の嵐!!!



お待たせ!! やっほり山でいよ

NEPAL CAMP

スペシャル

そして やっほり山

☆
ネパールフリマジック
☆ ☆ ☆ ☆ ☆
6/1 新宿中央公園にて☆
☆ 9:30 - 15:00 日曜 ☆
☆ 3週連続フリマ出店の ☆
売上げ金や いかに?!? ☆
☆ ネイキャン赤字うめたい ☆
☆ ☆ ☆ ☆ ☆



もともと牛小屋だった学校と生徒たち



村民総出の溝掘り



掘ったよ!



カニ、カニカニ...



ナマステ



お味噌汁飲む?



トイレのタレ
待ってた イロク



ヤンキーばあちゃん



それら サチが あわてて 走ってきた。
「ナオミ、あたしの 魚食べちゃったってホント?」
「え、あたし、エウが くれたんだもん。 あ、食べると 魚の下に のせて 戻したから... それを 見い出に...」
そんな村に学校を建てにいった。
私たちが帰る前日「学

感想文

突然の決断でした。初めてのボランティア。ワークキャンプ^①のような活動をするのかも くらいに 固まらずに... それで どうしても 行きたい気持ちと 押さえられなかった参加しました。行って... 本当にいい経験できました。あんなに 楽しい 時間を 子供達と 出逢えて、彼らの 為にと 何かを してあげられたら という 想いを 抱く ことになった。今までの 自分の 生活も 改善すべきだと 気付かされました。何て いうか 多い 暮らしをして 来たのと同じく 反省し、もっと 他人の 為に 何か 出来る 事が あれば がんばりたい と思い ました。せめて 生きて 行きたい なら、今回の ワークキャンプに 参加して、自然に そんな 気持ち になりました。

新妻直美 30才



やぎもしめる

17. 感想

とても楽しいキャンプだった。最後にあんなにすみじか^②のは初めてで、本当に良いキャンプだったと思う。もっと 本音の ことを 知って、何か できる こと がある。あんなに 体力が あった らも 運動 して みる。それ だけ 内容の 濃い キャンプ だった。

新しいキャンプが誕生した。ティミ村で開催された前回2回のSCCのキャンプから離れ、再びネパールで。個人的なことで垣見さんという素敵な協力者を得て、前回にもまけずおとらずのいいキャンプ（リーダー自画自賛）。たくさん働いて、たくさん食べて、たくさん歩いて、たつとさん呑んで踊り狂ったキャンプ。

「こんなに楽しい日本人が来たのははじめてですよ」と、垣見さん。「そりやあもちろん オーディションありましたから」と私。そんなくらいにみんなバカ騒ぎに天才的なキャンパー軍団は、毎晩惜しみなく歌を歌い、記憶をなくしてまで踊り狂った。子供も大人も、ネパール人も日本人も入り乱れ踊り狂れた。

首都カトマンズから3日かけてたどり着いたその村は、電気もガスも、お店もな—————もなないところで、本当にたくましく生きている子供だらけの村だった。

山奥のその村は、自分たちの作物で生活できるのは3ヶ月で



リーダー妙な踊り大好評

「明日から誰が自分の家の前で大声で笑い声をたててくれるだろう」と、おばあさんが泣いてくれた。

その言葉にキャンパー全員本当に救われた気がした。なぜなら 自分たちは労働者としてまったく役に立ててないのが一目瞭然だったし、それでも少ない村の食料を惜しみなく提供してくれることに申し訳なさを感じていたからである。

それだからこそ、私たちはワーク後の村人と一緒にやる宴を一杯のバカを振りまいたのかもしれない。

テレビも本もないその村で「非日常」はかけそばの七味唐辛子みたいな重要であるとないとで全然違うもの。

キャンプってそういうスパイス的要素のためにこそあるんだろうなあって今回すごく思った。

お祭りみたいに、サーカスみたいに、ちんどんみたいに、アツという間にどっかにいつちゃったとしても、その楽しかった思い出だけであとで ふと笑みがこぼれちゃうようなそんな密度の濃い2週間を降りまくために、私たちは はるばるネパールまでぐぐぐと行ったのだ。ぐぐぐと。無力でも、非力でも、楽しいときが一緒に過ごせばいいではないか!

楽しい時を過ごすこと以外に重要な事なんて思いつかない。

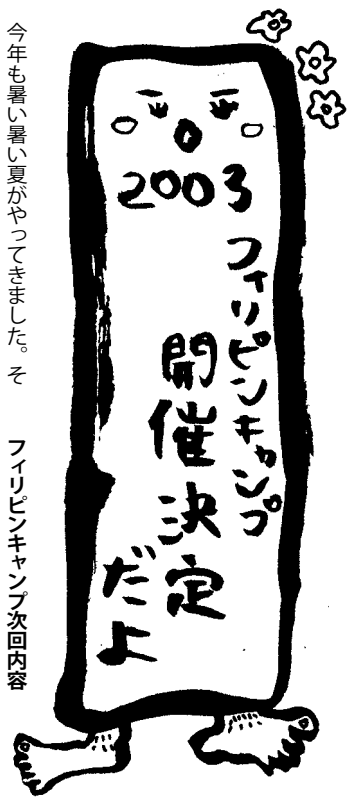
新生ネパールキャンプ、楽しさお届けします。人を湧かすことに最大の生き甲斐感じる人、一緒にネパール行きましょおつ———!!

第一回目のこのキャンプはすべて個人的なつながりで企画され、どんなNGOとも関わっていませんでしたが、今後の活動を考えるうえで、継続性・信頼性・確実性などから やはり団体があった方がよいのではないかとということになり、メンバー同士顔見知りの多かったF-WCの仲間に入れてもらうことになりました。

新しいキャンプ! どうぞどうぞよろしくお願いします。

◎ 宮本久美子





今年も暑い暑い夏がやってきました。そのきたる夏にあの熱い熱いフィリピンで今年もワークキャンプの開催が決定されました。今回は記念すべき第10回目のフィリピンキャンプです。それに際して、今回のキャンプはこれまでのワーク主体のキャンプから趣向を変えてみたいと思います。つまり、ワークもやるにはやるんですが、ワーク+αでエンターテインメント的なものをしようということです。ワークだけではまかなえ切れない村人たちの交流をエンタメで実現しようというのが狙いです。

テーマは「巻き込み」です。フィリピン人たちをどこまで巻き込めるか。そしてワークキャンプを通じて僕たち日本人を形として、あるいは目には見えないけど心に残るよき思い出として、フィリピンの子供・大人にどれだけ印象づけられるか。それが今回のキャンプの大きな目標です。今の時点での決定事項は以下のとおりです。

説明会

5月30日 早稲田大学新学生会館403号室

18時30分より

6月12日 場所未定

6月24日 場所未定

フィリピンキャンプ次回内容

日程：8月下旬から9月中旬の3週間程度

場所：フィリピンレイテ島

ワーク内容：未定（下見・6月下旬）

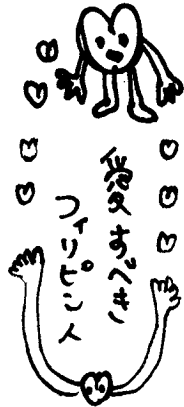
ホームステイがあるかも…

費用：12万程度（昨年）

人数：20名前後

◎ 2003フィリピンキャンプリーダー

神谷慎司



携帯電話の「非通知設定」と「通知不可能」をご存知だろうか？どちらも相手の番号は分からない。

半年ほど前、私が就職活動を始めた頃からよくこの手で電話がかかってきた。「非通知設定」は企業側から「通知不可能は、そう、フィリピンからだ。」

まくし立てるように「フェスタに来い！」と言って電話は切れる。嬉しいような、悲しいような…。

スタッフとして関わってから、一年以上過

ぎた。就職活動を機に、改めてフィリピンを想う。

私がスタッフの時は、テロがあり、下見が延期され、春開催もできず、「フィリピンよりアフガンだ」なんて言っていたこともある。

次のテロはフィリピンだから…、と脅され、情報に翻弄されながら、それでも何とか実施できた。

問題は山積みではあった。けど、その場の空気を共有したものの同士が、声をそろえて「楽しかった」「また逢いたい」。涙がでた。

少し堅い話になるが、日本の社会福祉制度は、歴史的に見ても、長い間、家族内解決への強い依存と、限定された施設主義に貫かれてきた。外との隔離によって彼らを孤立させていった。温もりを感じる術を限定してしまったのだ。流動性はなく、固定観念のぶつかり合いで「勝ち負け」を決めてきた。小さな人間である。器が小さい。

しかし、ワークキャンプはどうであろうか。確かに、働きもせず酒を飲んでいる私のようなものが言うのはどうかと思うが、粹ではないか！肌も違う、国籍も違う、言葉も、背負っているものが違うもの同士が、酒を酌み交わし、お互いを解ろうとする。

戦争が終わり、お互い憎しみあっていた時期とは考えられない関係を築いていく。10年、20年先に、私達の訪ねた村々の子供達が大きくなり、違った形で日本とか

かわりを持つてくれる。「ああ、楽しかったな、日本人」そう思ってくれることは井戸を作ることよりも、タンクを作ることよりもじつに実りのあることではなからうか。

肌が触れ合うことで、出会うことの新鮮さを感じ、驚き、お互いに「生きる」ことの貴さを感じあうことが、何よりの宝になるのではなからうか。私はそう考える。

だからこそ、素人臭さが必要なのだ。バイトの金はいって、これだけしかお金も無い、技術も無い、だけど、「俺はお前らに逢う為に来た」、他に何も望むことは無い。

「アフガン」にだって逢いたいと思える人がいるかもしれない。「リンホウ村」にだって逢いたい人がいるかもしれない。素晴らしいことではないか。

少なくとも私は、逢いたい人がいるから逢いに行く。何かをしようとは思っていなかった。だからこそ、何にも考えずに打ち溶け合えた。紛れも無い事実である。社会的障害であろうが、身体的障害であるうが、「出逢う」ことは誰にも止められない。

だけど、その「出逢い」をいかに続けるか。それが、たまたま私はワークキャンプという形であった。

今夏、前回の参加者から名乗りでスタップを引き継いでくれた。

彼らも未来への投資家であろう。そして参加者、共感者は、みな株を持っている。良くも悪くも、感じる心だけは破綻させ

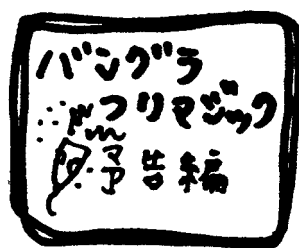
ないで欲しい。私からの随一のお願いだ。

温かく見守ってやってください。我々は心にタネを蒔いて参ります。

それにしても、「非通知設定」でいいから、「うちの会社に来い」とは早く言われなかな。と最近思い、フェスタにも行けそうに無い、悲しい私です。

◎ 2002フィリピンキャンプリーダー

田中祐也



来々人には家より大きい時プレゼント！（希望者のみ）



最近、特に関西委員会からはF・W Cのキャンプだと思われているバンクラキャンプが、半年ぶりのフリーマーケットを開催いたします。

日時：6月15日（日）父の日 10～16時

場所：代々木公園

（お願い）今回は品物不足が予想されます。参加される方は是非何か売れそうなものを二つ三つ持参ください。

◎ 隊長：小林武史

<http://www.banglacamp.org/>



韓国キャンプ準備メンバー(松長、佐藤)は、4月30日〜5月4日にかけて今年度キャンプ地の下見とカウンターパートであるハナ会とのキャンプ打ち合わせのために韓国に行ってきました。下見先は忠清北道・忠光農園で、森本美代治さんに紹介していただきました。下見には、ハナ会の会長、ベ・サンヒョク君も一緒でした。まず村にいった一番に長老の金新芽さんにお会いし、村の概要を聞きその後、宿舎になるであろうノナエジブ(モグネス

ト参照)を覗き、村の中を歩き回った後に村の理事長さんにお会いしました。そこで、忠光農園でワークキャンプをしたということ、ワークはどのようなものがあるかを伺ったところ、その時点ではワークキャンプはOKだが、ワーク自体は話し合ってみないとわからないということでした。後日、ワーク内容については連絡があるそうです。

村は、プロテストの共同体で村人との交流の場ではお酒、タバコ、歌はだめだということでした。そのため、今回は村との交流会、お別れパーティーなどで工夫が必要になるかもしれません。関西委員会が、この村でキャンプをしているようなので、様子を教えてもらおうと思っています。(そういえば、ノナエジブの中にも関西委員会作成の歌集が！)

また、金新芽長老の素敵なオラにも魅了されました。まさに「人が慕って、集まってくるのがわかるなあ」(佐藤正明談)という感じのオラでした。どんなオラなんだ？と直接それを感じたくなったあなた！一緒にキャンプに行きましょう。ぜひ。

また、近日説明会を開きます。

6月1日(日)

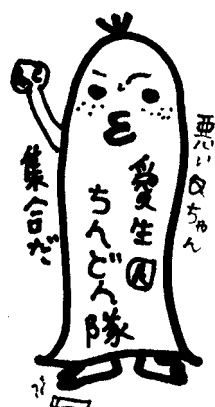
6月8日(日)ともに15時

場所は、松長までお問い合わせください。早稲田近辺を予定しています。

◎松長麻美



下見メンバー、韓国のメンバーと…



岡山のハンセン病療養所長島愛生園で今年もちんどん隊を結成して演奏をします。もともと6、7年前から関西委員会を中心にやって行っていたのですが、最近では広島委員会、関東委員会からも沢山の人が参加するようになり、去年は延べ60人ぐらゐの参加者が踊りや各々の持ち寄った楽器で演奏しながら盛大に園の中を練り歩きました。

しかし愛生園には20人分の宿泊施設しか確保する事が出来ず、残りのキャンパーは近くに住むキャンパーのお宅へお邪魔する事になり、大変迷惑を掛けてしまいました。また練り歩きの中で、人数が多いため列が長くなってしまい結果統率がうまく取れなかったこともありました。

この問題を踏まえ、関東の定例会の中で今年はどうに進めたら良いか話し合ったところ、キャンパーの中から幾つか意見が上がりました。

練り歩きの問題については、全員で演奏するのではなく2つのグループに分けて別々のところを回つたらどうだ、や、1日の演奏時間を2つに分けて、時間別で演奏したら良いのでは？と言つような意見が出てきました。

人数の問題については、祭り本番の前後日に準備と片付けの日があり人手が必要なので全日参加できる人を優先的に

参加できる事にするのはどうか？や、単純に早いもの順で決めて良いのでは？といった意見が出てきました。そのなかで、人数を分散させるため東京の多磨全生園でやってみてはどうか？と言つ意見がありました。しかし、全生園では夏祭りは無く(秋祭りはある)夏の時期に行きたい人や愛生園の祭りに行きたい！と言つ人が多くなかなか良い問題解決策はありませんでした。

とりあえず、今年の参加者の人数を見て考えたいと思います。参加希望の方は6月21日までに関西委員会の青山哲也さんまで連絡して下さい。

また、関東ではちんどんに合わせて近々音合わせをしたいと思つてます。関東近辺から参加しようと考えてる方、一緒に練習しませんか？

みんなで愛生園に音楽の風を届けましょう！

日程

7月29日：夕方愛生園集合

7月30日：祭り準備

7月31日：本番、朝ミーティング

8月1日：祭り後片付け

愛生園ちんどん隊連絡先

ちんどん参加のご連絡はこちらへ…

◎青山哲也

ちんどん関東音楽隊連絡先

関東での練習の問い合わせはこちらへ…

◎原田健一



耶馬溪キャンプ

大分・耶馬溪
2003.5.3～5

総リーダー：西村 康平

ワークリーダー：茂木 亮

CP：藤澤 真人

レクリーダー：金本 健久

たまごリーダー：堀津 静香

キャンプソング：たんぽぽ

参加人数：29名

メインワーク：田植え準備作業

- 苗床作り
- くるうち(田にクワを入れてアゼを作る)
- しろかき(水田の土をがき取る)
- 草刈り

その他のワーク：にわとりのたまご磨き、
草刈り(お風呂用)
夏野菜の定植
にわとり小屋の解体(一部)など

ヒゲがよく似合うステキな方です



稲の苗作りをしました



お風呂は新です



宇宙&ゆきちゃんちの天馬くんは温泉に入っている気分



佐々木文さん&竜也さんの娘、長緒ちゃん

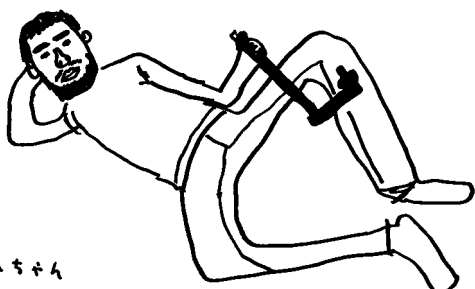


毎日、産み立て玉子をみがく

◎目黒美穂子



近所の市策さんから鹿肉と猪肉のサシイレ



のんちゃん

ごちそう その①：ご近所に住む
いっさくさんが山で
とってきた 鹿 → さしみ



その②：同じく 猪 → しし鍋
(みそ汁で)

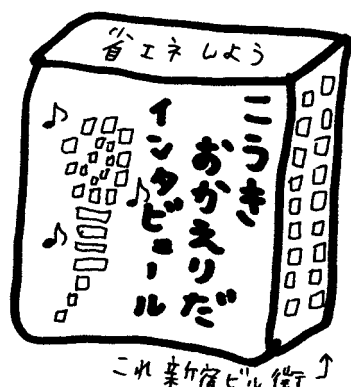
その③：言峰山さんの(養豚のお仕事もなっ
ている) 豚肉 → トンカツ

夜のお楽しみ：ワークの後の 温泉

新鮮な野菜をつかった晩ごはん
ビール、火炭面などを楽しみ
ながら語り合ったり、ゆったり
くつろいだり、お茶をしたり
三線ひいたり、きいたり



大分・耶馬溪で農業を営んでいる
F1WC 関西・OB の金本 健久さん
にお世話になり、何年ぶりか
うーわに稲作キャンプをさせて
頂きました。



2002年11月、2003年3月と継続的に行ってきた、中国・リンホウ村でのワークキャンプは、4月からキャンパーの原田僚太郎君がF・W・Cの駐在員として現地に入りました。村人とともに生活し、村への支援団体を作るために、近隣地域の学生と活動が続いています。

彼のレポートは、モグネットに掲載しています。定例会報告にも掲載する予定です。ご期待ください！

夏のワークキャンプは、現在準備を進めています。SARS（重症急性呼吸器症候群）の影響によるWHOの渡航延期勧告は5月25日に解除となったので、キャンパー一般募集も行うことを考えています。ワークは前回建てた住居の断熱材の設置などがあります。定員は10名程度の少人数のキャンプとなります。

リンホウ村では3回目のキャンプとなり、また原田君の尽力により、村人や近隣の人々、現地の学生などとの交流も深いものになってきました。

夏の中国ワークキャンプのすべての詳細は6月中に決定しだい、お知らせします。

◎ 茂木亮

関西F・W・C韓国キャンプは今年で丁度三十周年を迎えました。今年のキャンプ地は、慶尚北道北部亀尾（Gumi）の近く、シンラク村と言った所です。この村は、人口68人（27世帯）で子どもも多く、養鶏・豚で生計を立てています。

この村でのワークは、150mと500mの道路をセメント舗装することを予定しています。是非興味のある方は下記の連絡先まで御連絡下さい。

◎ 國分伸浩

◎ 森田健一郎

◎ 香川朋子

リーダー一言挨拶

今回のキャンプ地であるシンラク村は子供も多く、明るい雰囲気いっぱい村です。

この村は昔から外との繋がりを積極的に求めており、それは現在も同じです。村の代表さんは私達にいます。「村に新しい風を吹き込んでほしい」。そんな代表さんの願いに答えられるよう交流を重視して、最高のキャンプにしたいです！

聞き手：鳥居厚志（バングラキャンプ名誉参加者）

昨年4月からアイルランドに留学していた奥村浩毅君（2000年ネパールキャンプ参加者）が今年4月に帰国しました。奥村君は留学中、スロベニアでのワークキャンプに参加したそうです。そこで奥村君にそこでのキャンプについてインタビューしてみました。

スロベニアのワークキャンプに参加されたそうですか？

奥村：ええ、去年の7月の終わりから8月の初めにかけての2週間、NGOというNGOの紹介で参加しました。

どういうキャンプでしたか？

奥村：夏の間の2、3ヶ月間、冬の間はスキー場になっている低い山の上で、スロベニアの伝統的な生活を営んでいる牛飼いの人たちが生活するのですが、僕たちはその少なくなりつつある牛飼いの人たちを一般の人たちに知ってもらうための紹介用ビデオ作り、そ

してスライドショーを企画しました。

つまりスロベニアの伝統を後世に残そう、といった試みですね。

奥村：そうですね。そしてその意図はスロベニア人に対してのものではなく、僕ら外国人に向けられたものでもあったようです。具体的にやることは牛飼いの人たちの生活をカメラなどで記録にとり、そして編集するといったことでした。

他にもワークとしては牛飼いの方たちの仕事の手伝い、例えば掃除、乳搾り、新割りなどもやりました。またスライドショーを行ったための小屋の修復作業なんかもやりましたね。

スロベニアの人たちの反応はどうでしたか？

奥村：彼らは僕のようなアジア人を見るのが初めてらしく、とても珍しがられて、いつも僕を自宅に招待してくれて、チーズやお酒を振る舞ってくれました。その牛飼いの人たちが、仕事でボロボロになった手で、でもとても力強そうな手で僕にお酒をついでくれたのがとても印象的でした。僕はお酒ばかり飲んでましたよ（笑）。

やはりキャンプではそういった人々と密接な交流ができるというのが一つの魅力ですね。

奥村：そう思います。僕もお返しに日本のみそ汁を作って振る舞いました。具

はジャガイモ、にんじん、ナス。向こうのジャガイモはとてもおいしかったのですが、ナスのせいでみそ汁が真っ黒になってしまったんです。でもスロベニアの人たちは、こんな健康的でおいしいものはない、とても喜んで食べてくれました。あるおばあさんが特に気に入ってくれて、僕はナベいっぱい作ったみそ汁の残りをそのおばあさんにあげたのですが、次の日にはそのナベいっぱいのみそ汁がすっかりなくなっていました。嬉しかったので、そのおばあさんに僕の持っていた味噌をあげてきました。

それは良かったですね。日本のものを外国の人が喜んでくれると、こっちとしても嬉しいものです。そういうことがあると、キャンプが終わってからも、より一層その人たちのことを思い出さうになりますよね。

奥村：そうですね。僕もキャンプとはまた別に、個人的にでも、またあの人たちとに会いたいと思いますよ。

一年間の留学を経てすっかりたくましくなった奥村君。はたからは全く変わっていないとささやかながらも、やはり何かをつかんで帰ってきたようです。今後の彼により一層期待したいものです。

◎ 鳥居厚志

◎ 奥村浩毅



年会費、カンパをたくさんの方よりいただきました。ありがとうございました。

年会費

並里まさ子、井木澤稔、水澤寿郎、永田良彦、尾形修一

中国キャンプカンパ

山口和子、河面典二、結純子、小島頭子、下郷晃、鈴木雅美、宮本郁子、並里まさ子、木村聖哉、青山和美、君塚隆太、森内和代、森元美代治、小沢直、小川美紀枝、菊谷節夫、3月22日懇親会参加者の皆さま

カンパ

匿名者

順不同、敬を省略させていただきました。引き続き、年会費、中国・ネパールワークキャンプ、中国滞在員へのカンパを募集しています。よろしく願います。

FIWC 関東委員会の年会費

年会費は3000円です。振込みは以下のどちらかの口座にお願いいたします。

※領収証の発行を希望される方は、その旨お知らせください。

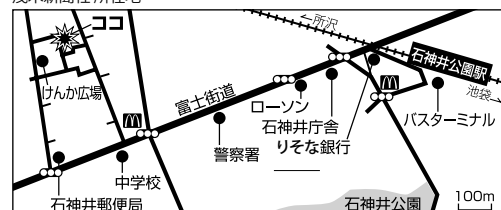
○郵便振替 口座番号 00170-2-565117

加入者名: FIWC 関東委員会

○郵便貯金 記号 10120 番号 62574261

口座名義: FIWC 関東委員会

茂木新聞社 所在地



西武池袋線・石神井公園駅下車南口から徒歩20分
バス

JR中央線吉祥寺駅 — 「成増町」行 石神井郵便局下車
西武新宿線石神井駅

JR中央線荻窪駅 — 「長久保」行 石神井郵便局下車
西武新宿線井草駅

◎ 藤澤真人

ございました。

目黒さん今まで関東委員会がバラバラ

が定例会という場を提供してくれたから

だと思えます。今まで本当にありがた

ございました。

は是非教えて貰えたらと思います。

ここが良い場所をお持ちの方、知ってる方

は是非教えて貰えたらと思います。

お家（石神井公園）でやるのですが、ど

こか良い場所をお持ちの方、知ってる方

は是非教えて貰えたらと思います。

院で開催する定例会委員会も最後となりま

した。次回のみキャンパーの茂木亮君の

お家（石神井公園）でやるのですが、ど

こか良い場所をお持ちの方、知ってる方

は是非教えて貰えたらと思います。

院で開催する定例会委員会も最後となりま

した。次回のみキャンパーの茂木亮君の

お家（石神井公園）でやるのですが、ど

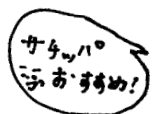
こか良い場所をお持ちの方、知ってる方

は是非教えて貰えたらと思います。

院で開催する定例会委員会も最後となりま

村人たちと直接話をする

10年にわたるネパールでの草の根活動



垣見一雅著

「OKバジ」

出版社
サンパティック・カフェ



ネパールキャンプカンパ募集!

●2003年に行ったネパールワークキャンプでの学校建設で予定以上にコストがかさみ、キャンプ会計が不足しています。赤字会計を解消すべく、3週連続怒濤のフリーマーケット出店中。ワークキャンプ活動にご賛同いただける方のカンパを心よりお待ちしております。

郵便振替口座 00170-2-565117 FIWC 関東委員会
(通信欄にネパールキャンプ宛とご記入ください)

モグネット

www.mognet.org

モグネットの記事を書いてみませんか?

- ワークキャンプの感想文・記録・意見・写真
- ハンセン病問題の資料、論文
- 各種イベント情報 などなど



●FIWC 中国駐在員・原田僚太郎のレポートを連載開始。さあ、モグネットを見てみよう!

ネパールカヌスの会 & 定例会

日時: 6月21日(土)17時~

ところ: 茂木会 (左上の地図) ない!

担当: ミヤモト クミコ

☎ 090 61078527

✉: miyakumic@hotmail.com



カヌスの会 000000

1. ネパール語の「食」について、
「カヌス」をひたすら言い続ける
2. 会費 1回 3000円
(食・放題・呑みまくり)
3. 会費 - 本量費 = ネパカンパ

こんだて
未定 (乞御期待)

定例会報告

2003年5月号

2003年5月29日発行

フレンズ国際労働キャンプ (FIWC)

関東委員会

委員長 藤澤真人

編集: 茂木亮、宮本久美子、鳥居厚志

伊藤祥江、奥村浩毅



※PDF版では電話番号やメールアドレスなど、お問い合せは以下までメールにてお願いいたします。
web@mognet.org